

特別重点要求 ・ 重点要求 要求概要

事業名	水際対策・不法滞在対策の強化			事業番号	
				担当府省	法務省
特別重点要求額 重点要求額等 (百万円)	特別重点要求額 又は重点要求額	特別重点要求又は 重点要求に係る 地方負担	同事業の 一般要求額	一般要求 に係る地方負担	事業規模
	278	0	0	0	278
過去の予算額 (当初：百万円)	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度 特別重点要求 重点要求 十一般要求
	0	0	0	0	278
事業主体	国	該当する支出先	a.公益法人 b.独立行政法人等 c.地方 d.その他 ()		
関連項目	iv. 重点要求				
日本再生戦略 該当箇所 (抜粋)					
事業の内容	主要空港に配備している偽変造文書鑑識システムや入管法違反者の摘発に活用している位置情報システムの経年劣化が著しく性能も低いため、更新することにより、厳格な入国審査による水際対策や摘発等による不法滞在対策を推進・強化する。				
事業の目的 ・効果	偽変造文書鑑識システム及び位置情報システムは、入国審査による厳格な水際対策や摘発等による不法滞在対策の推進・強化を図ることにより、我が国の治安・秩序の維持に資するものである。				
需要・雇用 創出効果					
関連・類似の H25年度特別重点 要求項目・額又は 重点要求項目・ 額及びそれぞれと 一般要求との 関係・役割分担					
事業の新規性、 見直し内容	年々精巧化している偽変造文書に対応するため、各国旅券の偽変造防止対策は益々高度化したものが施されている。そこで最近の各国旅券に対応することができるよう、高性能化した偽変造文書鑑識システムを新たに更新し、鑑識能力の向上を図ることで、精巧化した偽変造文書に対して対処できる。また、平成26年3月にシステムサポート及び地図サービスの提供が終了する位置情報システムを更新し、効率的・効果的な摘発等の実施体制を確保する。				
関連する 財政投融资、 税制改正、 規制改革、 制度金融等の施策					
備考					